



# こおり 未来会議

令和6年8月10日  
グランケット桑折

子どものころの桑折町の印象や好きだった場所、これから町に期待すること—。令和6年に20歳を迎えた桑折町出身の7人が、町の過去・現在・未来について、高橋宣博町長と語り合いました。

## 子どものころの町の印象・好きだった場所

### 人とのつながりがもてる場所

**吾妻** 桑折町は、人と人とのつながりが強いという印象がありました。町の事業を通してつながりが持てるだけでなく、住民たちが主体的につながりを強くしている印象もあります。マルベリーこおりやバーガーサ

ミットなどによく参加していく、運動や食べ物を通して町を知ることができ、私にとっては人と関わる貴重な場所でした。

**緑上** 子どものころ好きだった場所は諏訪神社です。小学生のころから稚児として関わりを持たせていただきました。そのようなコミュニティへの参加は、今でも思い出に残るものです。

**町長** 現代社会は、地域コミュニティと疎遠になりつつあり、コロナ禍でさらに人との接触や行動が制限されてしまいました。そのような状況を経験し、やはり地域コミュニティの大切さを実感しています。住民主体のいい雰囲気、環境をつくっていく必要があると思います。



ピーチリバーク157と阿武隈川

### 豊かな自然と受け継がれる伝統

**佐藤(倫)** 半田山や阿武隈川が好きで、自然豊かなところという印象があります。半田山に行く機会が多く、自然に触れて遊ぶことができるいい町だと思っていました。一方で、昔はお店が少ない印象もありました。

**阿部** 好きだった場所は法圓寺と諏訪神社です。小学生の時、法圓寺にある公園で毎日友達と遊んでいたのが

思い出です。諏訪神社でもよく遊んでいて、お祭りは絶対行っていました。また、自然の多さも印象的で、帰ってくるたびに、やっぱり自然が多くていいところだなと感じています。

**町長** 蛍保存会の方たちが環境整備、自然保護に尽力し、受け継いだ資源を大切に守り続けているように、そ



諏訪神社例大祭

れぞれが好きなことや得意なことを活かした地域づくりが必要だと思います。また、お祭りは、地域コミュニティを形成する上でも大事な要素で、若い人たちが伝統を受け継ぎ、さらに次世代につないでいくことで、地域活性化につながるだけでなく、町



産ヶ沢川のホタル



△ 参加者



と思う気持ちもより高まる感じています。皆さんも「見る側」から「参加する側」として捉え直し、継承者のひとりになつていただければ、もっと地域が盛り上がると思いますよ。

### 充実した教育環境

**佐藤(魁)** 小学生のころからずっとバスケをしていたので、町民体育館によく行っていました。桑折町は町民が利用できる施設が多いという印象がありました。

**河原** 好きだった場所はイコーゼ！です。幼稚園生のころから水泳をしていましたが、当時から、良い環境で水泳ができることが誇らしく、町外に住む友達に「雨が降っても、寒くても温水プールだから入

